

域の人々に発表し、郷土を誇りに思う心を育てている。

ここでは、生活科と家庭科における郷土素材の活用について紹介する。

### (1) 生活科（1・2年）

単元「たんけんにいこう」（4月）では、学校探検と校区探検の学習活動がある。特に、校区内の探検には、深固院の探検、蛇の穴の探検、蛍のいる川の探検、春の花や生き物探しなど、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりが具体的に把握できるような学習活動が設定してある。

#### 【深固院探検の場面から】

主な学習活動（1時間）	児童の気づき	関連・発展
① 紙芝居「和尚さんとしんこ団子」を観る。（日吉町司書補部会作）	○ 和尚さんの優しさ ○ しんこ団子の由来	○ 地域の文化 ○ 米作り
② 深固院を訪ねる。	○ 和尚さんを敬う地域の人々	○ 「深固院祭り」への参加
③ 学習を振り返る。	○ 地域のよさ	○ 豊かな地域

児童は、この学習を通じて郷土の食べ物として伝わる「しんこ団子」を再認識する。

児童の姿として、PTAの協力を得て育てている稲をよく観察するようになったり、秋の「深固院祭り」を楽しみにしている様子や蛍の飛び交う豊かな郷土に関心をもつ様子が見られるようになったりするなど、地域への愛着が深まった。

### (2) 家庭科（5・6年）

総合的な学習の時間に単元「〇〇名人に学ぼう！」（全21時間）の学習活動を行った。

その際、オリエンテーションとして、「しんこ団子」の試作による失敗体験を基に、児童は地域のしんこ団子名人に自分の失敗体験を紹介したり、名人の団子作りのコツや苦労話などを聞いたり、実技指導を受けたりしながら、自分の学習テーマを設定する活動へと展開していった。

そこで、家庭科学習では、この総合的な学習の時間の学習と関連させ、「しんこ団子」づくりを次のように実習した。

主な学習活動（2時間）	児童の意識や反応
① 今日の学習について話し合う。 秘伝のしんこ団子を作ろう。	○ 最初のしんこ団子作りは失敗したから今度は失敗しないぞ。
② 材料を確認する。 ・餅米粉 ・しょう油 ・砂糖 ・みりん ・竹串 など	○ 名人のとおりになれば成功するかな。 ○ おいしいしんこ団子を作るぞ。
③ 調理実習をする。 ○ 粉を水でこねる。	○ 作る手順や方法など、名人の教えを確かめたい。 ○ 分量を計量カップで正確に計る。